

こうちこどもファンド通信

編集・発行：高知市地域コミュニティ推進課 (TEL/088-823-9080)



平成28年度助成グループが決定しました



団体名	活動テーマ	活動内容	助成決定額
1 高知市立久重小学校6年生	国際色豊かで災害に負けない久重地区を作ろう	○各国の食を紹介する国際交流会の開催 ○英会話学習 ○防災食品試食、食品づくり体験	200,000円
2 潮江中防災プロジェクトチーム	防災学習の取り組みと地域防災への啓発・貢献	○非常持ち出し袋の中身の学習 ○防災避難所カルタの作成	154,400円
3 Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会	まもれ 高知 自らの生命を守り 我らの 地域を救う	○地域で避難訓練の開催 ○高齢者施設や小学校、保育園などで防災啓発活動	200,000円
4 チーム龍馬	「城西龍馬新聞 ボランティア特集」	○城西龍馬新聞ボランティア号とボランティア八策の作成、配布	200,000円
5 おおつ子	地域へと 笑顔をつなげ おおつ子	○アルミ缶回収 ○清掃活動、炊き出し訓練開催	200,000円
6 ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム	高知-LA四世 バスケットボール交流	○LAバスケットボールチームをホストファミリーとして招き、交流試合、日本文化体験	200,000円
7 一宮家おもてなし隊	一宮家はひとつの大家族やき！！	○あいさつ運動、高齢者施設訪問、清掃活動 ○防災グッズづくり	181,500円



子どもたちが、自分達の住むまちをもっと良くしていくために行う活動を応援する制度「こうちこどもファンド」。平成28年度の助成グループを決める公開審査会を、平成28年6月19日(日)、高知市南部健康福祉センター大ホールにて開催いたしました。

応募グループの子どもたちは、3分以内という短い制限時間の中で、審査員に対し、自分たちが取り組みたいと考えている活動を精一杯アピールしました。

会場には、応募グループや一般の観客の方、来賓の方々合わせて、約100名の参加がありました。今年は7グループから応募があり、審査を突破し、見事すべてのグループに助成が決定しました。

助成グループの子どもたちの活動は、当こどもファンド通信やFacebook、地域コミュニティ推進課のホームページ等で、随時お知らせしていきます♪ぜひご覧ください！

(※公開審査会の様子は2ページ目に掲載しています。)

STEP1

公開プレゼンテーション



公開審査会の流れ

応募グループの子どもたちが、こども審査員・大人審査員に対し、3分以内で、自分たちの活動目的や具体的な活動内容について説明(プレゼンテーション)します。

STEP2

こども審査員の質疑



発表内容について、こども審査員と応募グループの子どもたちとの間で、5分間の質疑応答が行われます。

STEP3

助成グループの決定



助成の可否について、こども審査員が判断を行います。こども審査員の過半数の推薦を得たグループに、助成が決定します。

☆こどもファンドアドバイザーがお手伝いします☆



子どもたちの活動をサポートする「こどもファンドアドバイザー」。助成が決まった後にもいろいろな悩みへの相談にお伺いします。また、「こどもファンドの活動に興味はあるけど、どんな活動にすればいいかわからない」「みんなの意見をまとめたいけど方法がわからない」「来年度の応募に向けて準備をしたい」など助成が決まってない段階でも、いつでもお気軽にご相談ください。



こどもファンド卒業生 田部未空さん



みなさんこんにちは！島根県立隠岐島前高等学校1年の田部未空です。昨年まで、こどもファンドの活動団体・審査員でお世話になりました。私が今、島前で毎日を楽しそうに過ごしているのは、こどもファンドの経験があったからだと思えます。

私は、こどもファンドから「高知の魅力」を学びました。「行川くいしんぼ隊」として活動する前は、そんなに高知が好きだと思いませんでした。けれど活動の中で、地域の方が料理を教えてくださいたり、困った時は快く助けてくださったりと「人の温かさ」を肌で感じました。高知にはそんな人ばかりなんだと知り、いつの間にか高知が大好きになっていました。いつになるか分かりませんが、必ず高知へ戻って、高知のまちづくりのために貢献できる人になりたいという目標もできました。

島前高校へ入学して3ヶ月たった今、私はとにかく地域のボランティアやイベントに参加して、何を探究するかという「土台作り」をしています。ゴールデンウィークには、高知で開催されている「とさこタウン」に参加した経験を生かし、高校生が企画・運営した「海士人村(あまんちゅむら)」のスタッフをしました。先日は、島前で開催された「まちづくり甲子園」に参加し、全国の高校生と島前の課題解決のために本気で意見をぶつけあいました。また学校では、「夢探究」という授業で島前の観光ビジネスプランを新たに提案することをしてしています。これからも、どんな事にもくじけず、挑戦し続けたいです。



活動団体のみなさん！ぜひ「高知」にしかない魅力を見つけながら、それぞれの活動をごんばってください！私も負けないように頑張ります！



☆ご寄附をありがとうございました☆

- <企業・団体様>
 - ★三愛石油カスタマーサービス株式会社 代表取締役 八田 聡子 様
 - ★株式会社 四国清掃工業 代表取締役 森国 勇 様
 - ★有限会社 大石電機 代表取締役 大石 典明 様
 - <個人様>
 - ★久川 憲四郎 様

★お断り★
27年度以前にご寄附をいただいた皆様は、地域コミュニティ推進課のホームページに掲載しております。

皆様の善意をお寄せください

子どもたちへの応援の気持ちを、ぜひ寄附としてお寄せください。

寄附の手続きは簡単です。下記までお気軽にご連絡ください。手続き等は地域コミュニティ推進課のホームページでもご確認いただけます。

また、寄附金については、税制上の優遇措置があります。
【お問い合わせ先】
高知市地域コミュニティ推進課 (TEL/088-823-9080)

【発行元】
高知市地域コミュニティ推進課
高知市鷹匠町2丁目1-43
TEL : 088-823-9080
E-mail : kodomofund@city.kochi.lg.jp
URL : http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/21/

★フェイスブックもよろしくお願ひします！★

高知市役所ホームページのトップ画面にある、こちらのバナーからご覧いただけます。⇒



平成28年度

平成28年6月19日(日)13時30分から、高知市南部健康福祉センター2階大ホールにて、平成28年度の助成団体を決定する公開審査会を行いました。審査の結果、応募があった全7団体の助成が決定しました。

こうちこどもファンド公開審査会



高知市立久重小学校6年生



今年度応募団体唯一の小学生☆

【活動内容】

市内に住んでいる海外の人たちに久重小学校に来てもらい、各国の食べ物を紹介し合い、自分たちで会話してみます。また、災害にあったときに備えて防災食料について学び、下級生や地域へ伝えていきます。

潮江中防災プロジェクトチーム



パワーポイントに加えて、非常持ち出し袋の実物、避難所カルタ一覧も用いて発表しました。

【活動内容】

非常持ち出し袋を用意して、中に何を入れるか学習し、実際に入れて保管します。また、小学校や高齢者施設で、作成した防災避難所カルタで交流を行います。その他に、家庭向けの防災アンケートも行う予定です。

おおつっ子



地域との繋がりをつくるために立ち上がりました

【活動内容】

アルミ缶回収BOXを地域の施設などに設置し、回収したアルミ缶をお金に交換し、地域へ贈呈品を届けます。その他、おおつまつりへの参加や清掃活動、炊き出し訓練を行う予定です。

ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム



【活動内容】

ロサンゼルスバスケットボールチームをホストファミリーとして招き、交流試合を行います。その後もメールで交流し、2017年の夏には今回交流したチームを中心にロサンゼルスでの交流試合を行う目標を立てています。

チーム龍馬



【活動内容】

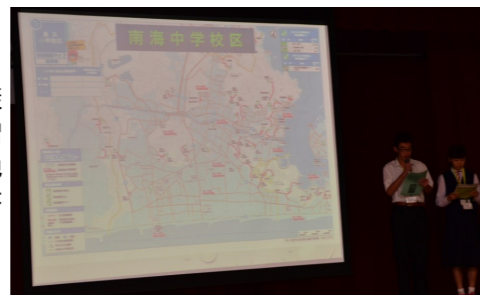
今まで作成してきた「城西龍馬新聞」をより充実したものにするために、ボランティア号を作成し、配布します。また、自分達もボランティアに積極的に参加し、ボランティアの意義などをまとめた「ボランティア八策」を作成します。



Nankai Survival Project(NSP) 実行委員会 こどもファンド応募継続3年目のグループ

【活動内容】

今まで行ってきた避難訓練の参加者を増やすために、もっと地域に向いて防災啓発活動を行います。



郷土祭りへの参加のほか、保育園児に防災遊びを教えたり、高齢者施設で防災プレゼンの実施などを予定しています。7/9には南海中学校で防災フェアを開催し、地域の人達と防災訓練を行いました。また、7/23には東日本大震災経験の中学生とテレビ会議を行い、防災について学習し、意見交換をしました。

一宮家おもてなし隊

こどもファンド応募継続2年目のグループ

コーラス部と協力して活動しています。今年もバックコーラスを加えて発表しました。

【活動内容】

あいさつ運動や清掃活動、高齢者施設訪問といった昨年度と同様の活動に加えて、防災グッズの作成など、防災の活動も行っていきます。



【こども審査員】



高知学芸高校2年 大原正裕委員



三里小学校4年 勝田佑委員



大津中学校1年 森本向日葵委員



小津高校2年 松岡陽委員



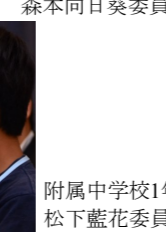
高知小学校4年 増田光祥委員



城西中学校1年 田部祥一朗委員



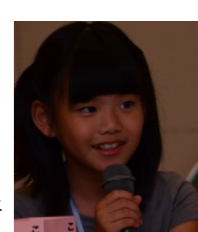
附属中学校3年 大原弘靖委員



附属中学校1年 松下藍花委員



はりまや橋小学校5年 青木晴楓委員



応募団体の発表をきいて、いろんな視点から質問し、各活動がこどもファンドとして適正かどうか考え、協議しました。

卯月審査委員長コメント



テーマで言うと、7つの団体のうち、6つの団体は全て防災や減災という内容が含まれていました。地域に入って行く以上、高知の地域特性があり、防災のことを考えるということによって子供たちと地域の住民の方々と交流を深めたり、あるいは将来のことを考えるというのは当然のことだと思います。高知以外でもこういう助成金のお手伝いを少ししていますが、ここまで防災のことをきちっと子供たちを含めて考えているところはそう多くないので、いつか来てしまうかもしれない震災のために普段の努力をしていることが多分良い結果になるだろうと期待しています。

こうちこどもファンドで特徴的なことは、審査するのが大人ではなくて子供たちだということです。我々大人審査員は、あくまでも子供たちが判断するときに必要なアドバイスをする立場です。子供が活動することを、同じ子供と一緒に応援する、あるときは厳しいことも言うかもしれないが、それは子供たちに役立つこと、最終的には高知に役に立つことだということで進めていることをぜひみなさんご理解していただきたいし、感じていただけたと思います。